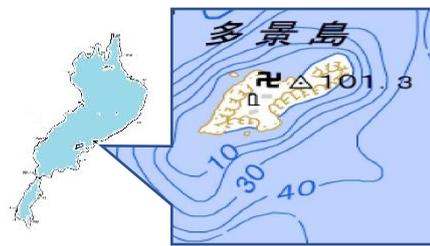


# 多景島ってどんな島？



住所・・・彦根市八坂町(彦根港から約6kmはなれた場所)

島の周りの長さ・・・約600m

島の長さ・・・約200m

島の幅・・・約70m

花崗岩(かこうがん)という大変固い岩でできています。



花崗岩(かこうがん)は、神社の鳥居や城の石垣(いしがき)などを作るのにつかわれる岩なんだよ。



「多景島」という名前の由来について

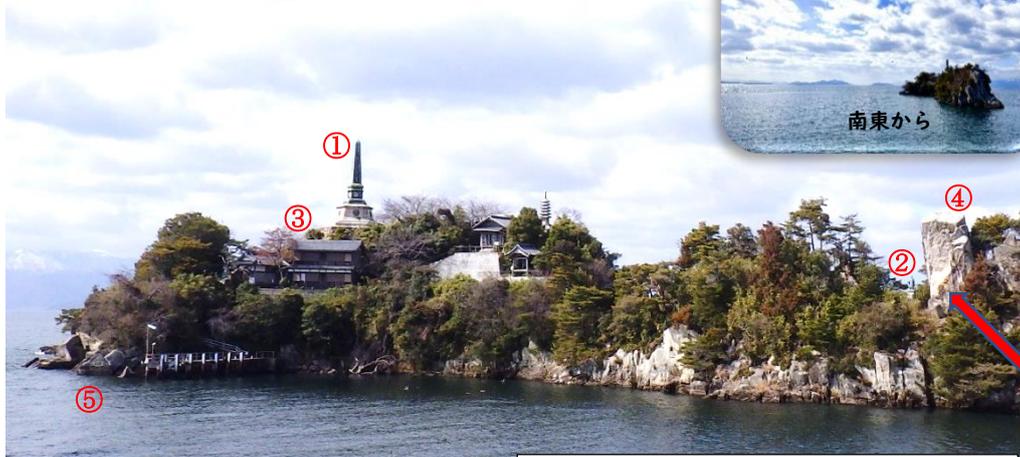
島にはたくさんの植物がありますが、もともとは岩でできた島で、木が生えていませんでした。江戸時代に彦根にある「荒神山」から土を運んできて、木などを植え、緑豊かになりました。それまでは「竹」がたくさん生えていたので「竹島」と言われていましたが、見る方向によってさまざまな美しい姿を見せることから、多くの景色を見ることができる島「多景島」と呼ばれるようになりました。



南東から



南西から



崩落前の題目岩

## ①誓いの御柱(ちかいのみはしら)

柱の高さは、約20m。五角形の柱で、大正時代(1924年)に建てられました。

五角形の面それぞれには明治時代の初めに明治天皇が国の決まりとして示された「五箇条の御誓文(ごかじょうのごせいもん)」が刻まれています。

### 意味について

1. 「何かを決めるときには、みんなで話し合って決めましょう。」
2. 「みんなで心をついて、働きましょう。」
3. 「みんなそれぞれに目標をもちましょう。」
4. 「きまりを守りましょう。」
5. 「日本を発展させましょう。」

にちれんしょうにん

## ②日蓮上人の銅像

題目岩のとなりにある人の銅像。

日蓮という鎌倉時代(約1100年代ごろ)を生きたお坊さんの若いころの姿。高さは約2m。

## ③見塔寺(けんとうじ)

日靖(にっせい)というお坊さんが自分の夢に出てきた仏の島をこの「多景島」だと思い、建てたと言われています。宝塔の下には、日靖上人が書いたお経が収められています。

現在も、住職さんが対岸の彦根市八坂町から船で通ってお仕事されています。

だいもくいわ

## ④題目岩(島から突き出ている大きな岩)

岩の高さは、約10m。岩には金色の字で「南無妙法蓮華經(なんみょうほうれんげきょう)」という文字が彫られていました。(2018年崩落)

不思議な言い伝え・・・岩の下から「南無妙法蓮華經(なんみょうほうれんげきょう)」というお題目を読む声が聞こえてきたそうです。うわさを聞いた日靖(にっせい)というお坊さんが命綱にぶら下がりながら約3年かけて彫ったといわれています。

さんばし

## ⑤栈橋について

彦根港から観光船が出ていて、島に上がることができます。(島までおよそ20分程度) 栈橋工事の際に、湖からたくさんの土器(昔の人が使っていた食器)が見つかりました。

古いものでは、縄文時代のものも見つかったらしいよ。



## 見塔寺 住職さんのお話

世界的に見ても大変歴史があり、貴重な動植物も育むびわ湖です。また、そのびわ湖の中にある多景島はさらに貴重で大変価値があります。この島全体に神様が宿っています。この大変美しく、歴史的にも重要な多景色島や滋賀の自然をみんなで大事にしていってほしいと思います。